

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月 1日

事業所名 レインボー・キッズ・クラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	療育時は、部屋をパーテーション等で仕切り、子どもの状態に応じてスペースを確保している。	子どもの利用状況・発達状況に応じて、スペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切である	4	1	定員基準より多くは、職員の配置を行っています。	子どもの状況に応じて、適切な職員の配置を行なっていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	子どもが見て分かりやすい様に、絵カード等を掲示してあります。	子どもの発達状況に応じて、絵カードやバリアフリー化を今後も検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	担当を決め掃除を行ない、活動ごとに部屋を合わせています。	子どもが活動しやすい環境を整えていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		各活動の委員会を決め、毎月の目標設定・結果を出して、職員会議にて共有しています。	これからも継続して行い、これからも業務改善に努めます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者に対し事業所の評価を実施し、その結果を職員全員に周知しています。	評価表の結果を真摯に受け止め、改善に努めていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページを随時更新しています。	事業所の自己評価を行い、改善内容をホームページにて公開を行います。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	現時点で行っていません。	今後の課題として、検討させていただきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		研修には随時参加しています。	研修に参加し、自己研鑽に努めます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		アセスメントを行い、ニーズや課題等を客観的に分析し、作成しています。	今後も継続して行っていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		標準化し、独自に作成しています。	今後も継続して行っていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		児童発達支援計画に「家族支援」「地域支援」をその子にあった項目を選択し、具体的な内容を設定しています。	今後も継続して行っていきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		個々の計画に沿って支援しています。	今後も継続して行っていきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		各活動を委員会と称して、職員を割りあてている。	今後も継続して行っていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		固定化しないように、定期的に活動内容に変化をつけています。	今後も工夫し、固定化されないように努めます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		毎日の中で、個別活動と集団活動を計画し、実施しています。	今後も継続して行っていきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日のシフトを作成し、毎日のミーティングで打ち合わせを行っています。	日々のシフト作成し、毎日のミーティングで業務等の確認を行います。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	毎日ミーティングを実施し、打ち合わせ・振り返りを行っています。又、重要事項等は日々の業務日誌に記録し申し送りを行っています。	毎日のミーティングにて、職員間での情報共有を行っていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		支援経過を元にし、記録をつけ、次に繋げられるように取り組んでいます。	日々の記録に努め、支援の検証・改善を随時行っていきます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		半年に1回は、モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っています。	少なくとも半年に1回のモニタリング、児童発達支援計画の見直しを行っていきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達支援管理責任者が参画している。	今後も継続して行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時には情報共有を行っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1	該当者がいません。	今後必要時は、関係機関と連携を取りながら支援を行います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1	該当者がいません。	今後必要時は、主治医や他機関との連携も図って行きます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時には情報共有や相互理解を図っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時には情報共有や相互理解を図っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	必要機関と連携を行っています。	今後も、研修等に参加し、情報交換に努めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	同事業所の企業内保育所との交流はありません。	今後、色々な交流の場を検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4	現時点で参加していません。	今後、機会があれば参加していきたいです。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		保護者とコミュニケーションを図っています。	保護者とコミュニケーションを図り、共通理解を持って支援していきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3	現時点で実施していません。	今後の課題として、検討させていただきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に説明を行っています。	今後も、契約時に説明を徹底します。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1	職員でガイドラインの周知を徹底している。	ガイドラインに沿って、児童発達支援計画を作成し、保護者に説明・同意をいただき、支援します。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	3	相談があった場合は、適切に対応心がけています。	今後も保護者からの相談等に適切に対応し、助言や支援を行っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	年に1回、懇談会兼保護者会を開催しています。	今後、懇談会以外に保護者同士の交流の場を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	相談があった際には、速やかに対応しています。必要機関との連絡を行っている。	今後も、相談や申し入れに対して速やかに適切な対応を行い、必要時は他機関との連携も行っていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月、新聞を発行しています。	今後も、毎月の新聞作成・配布を行っていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		秘密厳守を徹底しています。	今一度契約書類等を確認し、個人情報についての取り扱いに注意していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		ノートでの情報伝達を行い、直接会って話をしています。	連絡帳や送迎等を通じて、保護者とコミュニケーションを図ります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	年に1回、地域の方を招待し、交流活動を開催しています。	今後、地域交流の行事を検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		契約時にマニュアルの説明を行っています。	防犯マニュアルが未作成の為、早急に作成します。 今後も、職員に周知を徹底し、契約時に保護者の方に周知を行います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		毎月1回、色々な災害を想定して、避難訓練を行っています。	毎月1回、色々な災害に対しての避難訓練を行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1	契約時に確認を行っています。	確認したことを職員で共有していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	アレルギーの子に関しては、除去を徹底しています。	今後も、アレルギーの子に対しての除去と事故防止に努めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		会議の際、怪我や事故危険だと思われる行動を伝え、対応策について話合っている。	今後も職員全員で共有していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		定期的に研修に参加しています。	研修会を確保し、虐待防止に努めます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	該当者がいません。	今後、必要時は保護者と十分に話し合い対応させていただきます。